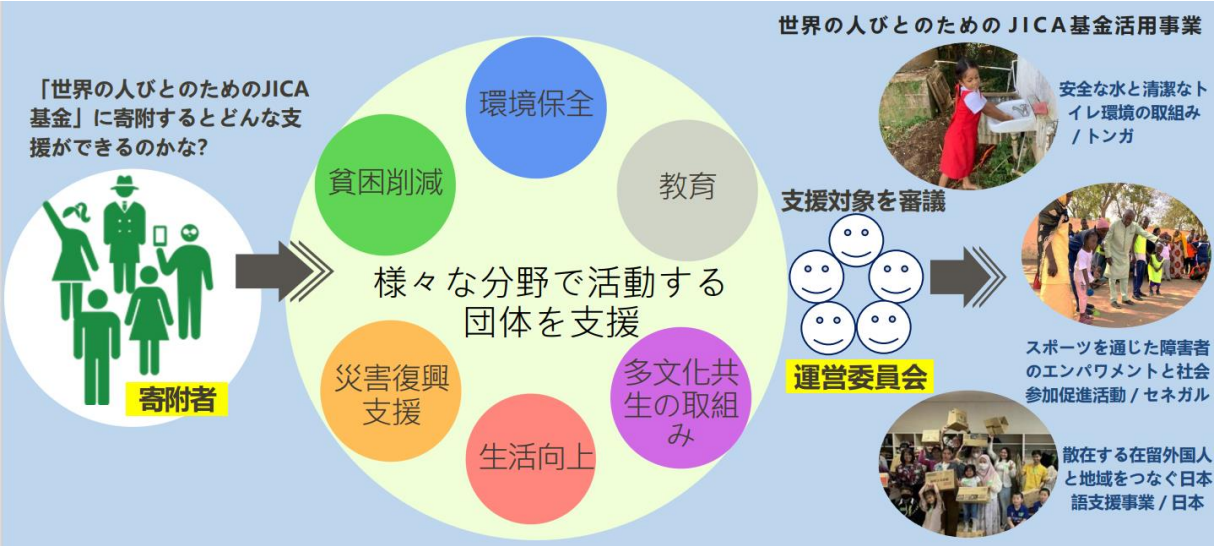
世界の人びとのためのJICA基金

ニュースレター
2025
前期

世界の人びとのためのJICA基金とは

「世界の人びとのためのJICA基金活用事業」は、市民の皆様、法人・団体の皆様の「国際協力活動を応援したい」という思いのこもった寄附金「世界の人びとのためのJICA基金」を財源に、日本のNGO等の団体が、開発途上国・地域の人びとの貧困削減や生活改善・向上に貢献する活動や、日本国内の多文化共生社会構築・外国人材受入支援に関わる活動を支援する事業です。2008年に開始し2024年度までに242の提案事業が採択されました。

本事業を通じて、実施団体が知見と経験を蓄積して本格的な活動にステップアップしていくこと、そして、団体がステップアップすることにより、寄附が何倍もの価値となって世界の人びとに届くことを期待して、毎年提案事業を募集しています。



各団体の詳しい活動報告について、終了時活動報告書を**JICA寄附サイト**の活用事業一覧に掲載していますので、ぜひご覧ください。
https://www.jica.go.jp/activities/schemes/partner/private/kifu/09_list.html

JICA寄附サイトからニュースレターのバックナンバーをご覧いただけます。

世界の人びとのためのJICA基金 ｜ 事業について - JICA
https://www.jica.go.jp/activities/schemes/partner/private/kifu/01.html

JICAの寄附金事業・JICAの取り組みについて

2008年度から開始した「世界の人びとのためのJICA基金活用事業」に加えて、2023年度より寄附メニューを拡大しました。ご関心のある活動に寄附を通じてご参加いただけます。詳しくはJICA寄附サイトをご覧ください。

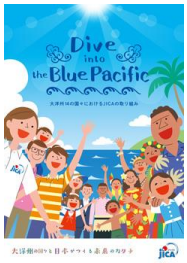
JICA寄附サイト ｜ 事業について – JICA
https://www.jica.go.jp/activities/schemes/partner/private/kifu/index.html

JICAの地域別・課題別の取り組みをJICAウエブサイトからご覧いただけます。

パンフレット ｜ ニュース・広報 – JICA
https://www.jica.go.jp/information/publication/brochures/

JICAの広報誌「JICA Magazine」（隔月刊）
世界中の開発途上国の現状や、現場で活躍する人々の姿や活動内容を紹介します。 デジタル版はJICAウエブサイトからご覧いただけます。

JICA Magazine | 広報誌 JICAマガジン
https://jicamagazine.jica.go.jp/



世界の人びとのためのJICA基金2024年度収支報告

「世界の人びとのためのJICA基金」の2024年度にお預かりした寄附金、2024年度のJICA基金活用事業の収支報告です。

世界の人びとのためのJICA基金2024年度収支報告

2024年度寄附金受入実績等			2024年度寄附金使用実績	
	件数	金額（円）		金額（円）
個人	589	3,124,000	事業経費（配分事業46案件※１）及び伴走支援関連経費	30,875,231
法人・団体	66	29,569,426		
前年度繰越（事業費）充当分		1,451,147	運営費留保分※２(寄附金収入額の10%)	3,269,342
合計	655	34,144,573	合計	34,144,573

※1 2024年度に寄附金を配分したのは46案件です。そのうち事業が終了した、2022年度採択の1案件、2023年度採択の13案件、2024年度採択の2案件、合計16案件の報告書を本ニュースレターに掲載しています。
※2 寄附金業務の事務経費として各年度の寄附金収入額の10%を充当しています。

2024年度に寄附をいただいた法人・団体

寄附の公表と企業・団体のロゴマークの掲載を承認された法人・団体を50音順で掲載しています。

寄附の公表を承認された法人・団体名を50音順で掲載しています。

FVジャパン株式会社
真田KOA株式会社
サントリービバレッジソリューション株式会社
聖心インターナショナルスクール高等部
ダイドードリンコ株式会社
株式会社八十二銀行
英重機工業株式会社
株式会社ゆうちょ銀行
一般財団法人ゆうちょ財団
りそなグループ

多くの個人、法人・団体の皆様にご寄附いただきました。
皆様の温かなご支援に関係者一同心より御礼申し上げます。

JICA基金活用事業の紹介

今回のニュースレターでは2022年度、2023年度、2024年度に採択した案件の中から以下の16案件の活動をご紹介します。

※2019年度から2022年度までは、提案団体の活動経験などによってチャレンジ枠と通常枠がありましたが、2023年度に通常枠に統合しました。

採択年度	団体名	事業名	活動地	事業期間
2022※通常枠	一般社団法人Think Locally Act Globally	スリランカの低所得層女性によるオーガニック家庭菜園を通じたエンパワメントと生計向上支援プロジェクト	スリランカ	2024/1/9～2024/10/31
2023	一般社団法人 にほんごさぽーと北海道	散在する在留外国人と地域をつなぐ日本語支援事業	日本	2023/10/20～2024/10/19
2023	こおりやま日本語教室	こおりやまプレスクールモデル事業	日本	2023/10/3～2024/9/30
2023	特定非営利活動法人POMk Project	インドネシア：教育機関同士の連携支援を通じた西ヌサトゥンガラ州・ロンボク島における健康教育の面的拡大	インドネシア	2023/11/1～2024/10/31
2023	学びファシリテーション	ブータン王国のSchool Agriculture Program 課題解決強化事業	ブータン	2023/12/4～2024/12/3
2023	Inna Project	ガーナ持続可能な自給自足型の村を作る「グリーンナプロジェクト(Green×Inna Project)」第一期	ガーナ	2024/1/4～2024/6/28
2023	特定非営利活動法Health Equity Research Institute	バングラデシュのナライルにおける、高血圧コーディネーター育成の為のモデル構築事業	バングラデシュ	2023/10/4～2024/10/3
2023	一般社団法人光 JS みらい	日本語学習者と地域をつなぐ、多文化共生社会づくりプロジェクト	日本	2024/1/4～2024/12/27
2023	特定非営利活動法人さくら・車いすプロジェクト	中古電動車いす提供による重度障害者の社会参加支援事業	パキスタン	2024/1/22～2025/1/21
2023	SHIZULATINOS（シズラティーノス）	みらいインベスト～外国にルーツを持つ生徒のための進路サポート～	日本	2023/11/27～2024/10/31
2023	NPO 法人Foot Roots	フィリピン・セブ島のモバイルリサイクルステーションへの挑戦	フィリピン	2023/11/1～2024/10/31
2023	一般社団法人モザンビークの新しい教育を支援する会	モザンビーク国マプトにおける合理的配慮のある幼稚園の設立・運営	モザンビーク	2024/1/15～2025/1/14
2023	特定非営利活動法人SEWA	来日直後の日本語がおぼつかない在日ネパール人児童に対する効果的な学習支援体制構築プロジェクト	日本	2023/10/2～2024/9/30
2023	一般社団法人福岡国際市民協会（旧ベトナムフェスティバル福岡実行委員会）	福岡国際子ども食堂＆居場所	日本	2023/11/1～2024/10/31
2024	特定非営利活動法人 ヒマラヤの星たち	学校における児童の眼の健康を守る事業	ネパール	2025/1/15～2025/2/17
2024	一般社団法人磐田国際交流協会	多文化親子ひろば～つながろう！ひろげよう！こどもの輪～	日本	2024/11/18～2025/3/14

2024年度JICA基金活用事業実施団体

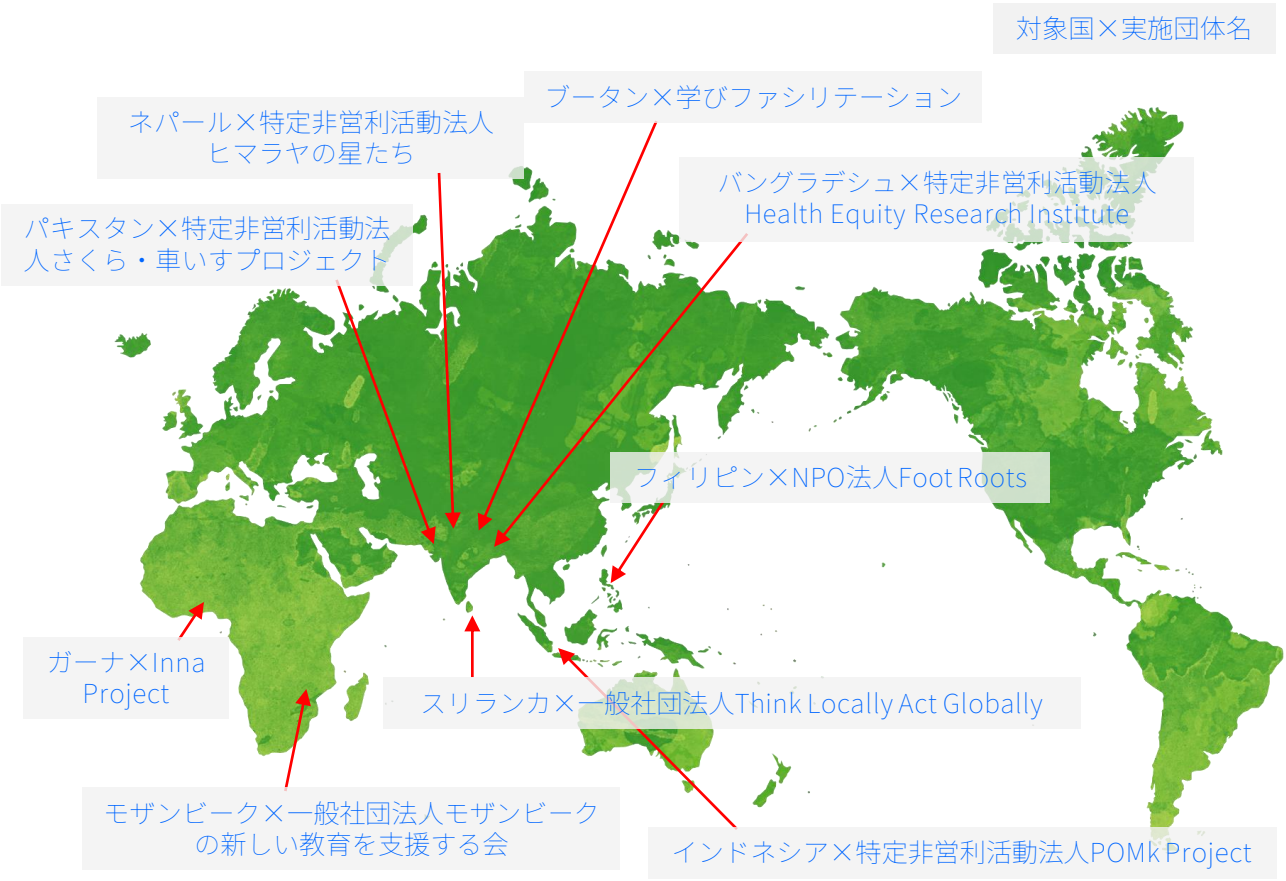
2024年度も、多くの個人や法人・団体の皆様の寄附により、途上国における貧困削減や生活改善、教育の機会の提供等の活動に加え、日本国内の多文化共生社会の構築推進、外国人材受入れ支援に貢献する計44案件を支援することができました。そのうち2つの事業は既に終了しましたので、今回のニュースレターに報告を掲載しています。

採択年度	団体名	事業名	活動地	事業期間
2024	NPO法人S.O.L.(ソル) 札幌支局	日本の虫除け文化が世界を救うAMIDO プロジェクト	スリランカ	2024/12/9～2025/6/30
2024	SHAKE★HOKKAIDO	超広域自治体における地域支援団体間の「交換留学」プロジェクト一貴重な現場の情報共有と新たな取り組み創出のためのしくみづくり	日本	2024/12/1～2025/4/30
2024	江別市国際交流推進協議会	江別のパキスタン・コミュニティを対象とする市民交流×児童の学習支援事業	日本	2024/12/1～2025/9/30
2024	一般社団法人にほんごさぽーと北海道	やさしい日本語とまちさんぽで築く防災共生の輪	日本	2024/12/2～2025/9/30
2024	北見YMCAいろはの会	日本語能力試験（JLPT）受験集中コース	日本	2025/2/25～2025/12/31
2024	一般社団法人みつやブリッジ	ザンビアと丸森町における農業を通じたwin-win 地域おこし	ザンビア	2025/2/20～2026/2/19
2024	とちぎに夜間中学をつくり育てる会	『中学教科単語帳』（日本語⇒シンハラ語）の発行と多様な児童生徒が共に学びあう学習環境づくりの促進	日本	2024/11/15～2025/11/14
2024	特定非営利活動法人あおぞら	ラオスにおける安全安心な出産のための医療人材育成プロジェクト	ラオス	2024/12/1～2025/11/30
2024	ディーヨフォーラムJAPAN	学習に遅れがちな生徒の保護者への支援（Parent education）	ネパール	2025/2/10～2025/7/31
2024	特定非営利活動法人サラダボール	パラグアイ自立生活エンパワメント支援事業	パラグアイ	2025/1/20～2026/1/19
2024	一般社団法人新興事業創出機構	ラオスで日本の IT パスポート試験をビジネス常識や IT リテラシーの測定に活用してビジネス人材のスキル底上げにつなげる取り組み	ラオス	2024/11/5～2025/6/30
2024	特定非営利活動法人新潟国際ボランティアセンター	ベトナムの孤児院における学力及びソーシャルスキル向上支援	ベトナム	2025/1/6～2026/1/5
2024	特定非営利活動法人Alazi Dream Project	シエラレオネ共和国ボー県・カイラフン県・プジェフン県における中高生性教育プログラム	シエラレオネ	2025/1/6～2026/1/5
2024	認定NPO法人AfriMedico	タンザニア 置き薬設置村・世帯拡大事業	タンザニア	2025/5/1～2026/4/30
2024	国際NGO ViVID	ガーナ共和国セイチェレ村「村おこし」事業2024～ジェンダーからのアプローチ～	ガーナ	2024/12/2～2025/12/1
2024	特定非営利活動法人ＮＡＲＯＭＡＮ	幼児の生育に関する養成プログラムの実施-低栄養児とその保護者対象の栄養プログラムの補完として-	東ティモール	事業開始に向け手続中
2024	特定非営利活動法人RCB 大口夢	横浜市大口商店街における、外国にゆかりのある子どもの居場所支援と多文化共生コミュニティ構築事業	日本	事業開始に向け手続中

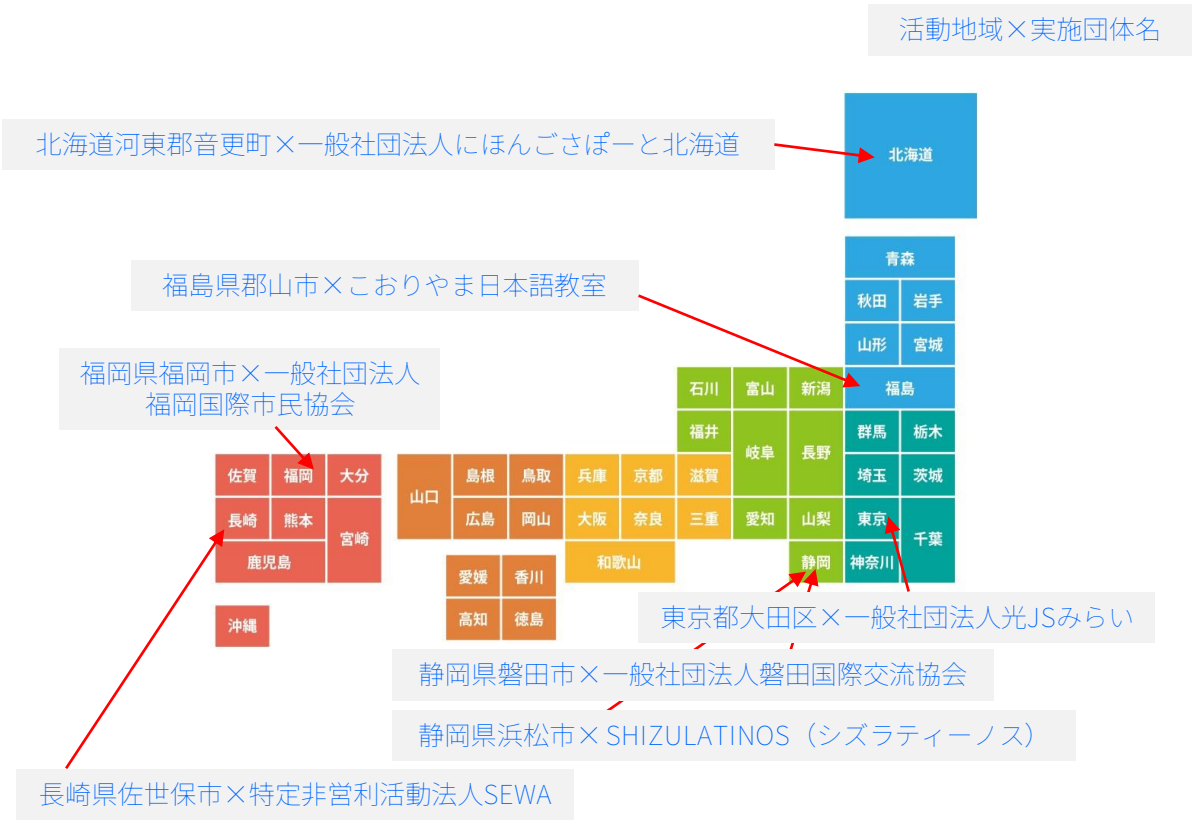
採択年度	団体名	事業名	活動地	事業期間
2024	ブルードット	フィリピン 南レイテ州の離島・リマサワ島の貧困層で組成した養鶏グループにおける貯蓄貸付の仕組み導入支援	フィリピン	事業開始に向け手続中
2024	一般社団法人 日本語まなびサポート北陸（略称：まなサポ）	石川県全域に届けたい！外国につながる児童生徒への学習支援	日本	2025/4/1～2026/2/20
2024	Grace Unincorporate Association	みらいインベスト~外国にルーツを持つ生徒のための進路サポート~	日本	事業開始に向け手続中
2024	NPO 法人幸縁	未来のコミュニティリーダー育成を目指したグアテマラ現地学習塾定着プロジェクト	グアテマラ	2024/11/1～2025/10/31
2024	Projeto Sementinha	在日ブラジル人コミュニティにおける継承語教育やアイデンティティを育む支援および移民劇を通した多文化理解促進事業	日本	2024/12/2～2025/11/28
2024	一般社団法人 Project INTEGRA	定住外国人向けキャリア形成と生活ガイドブック	日本	2025/2/3～2025/10/31
2024	特定非営利活動法人 みらい	日本の小中学校、高校に在籍する外国にルーツをもつ児童生徒への日本語指導と心の居場所づくり	日本	2025/4/1～2026/2/27
2024	任意団体 アジアなりわいネット	インドネシア・スンビラン諸島における漁具の技術改良による海洋プラスチック削減と水産資源の回復促進プロジェクトー環境に配慮した木製フロートの可能性ー	インドネシア	事業開始に向け手続中
2024	移民支援団体 immi lab	移民ルーツの若者をエンパワメントする「プロジェクトポンテ」の拡大に備えたメンター獲得事業	日本	事業開始に向け手続中
2024	グール	モンゴルの子どもたちの栄養改善・食育プロジェクト～地域での食育活動推進～	モンゴル	事業開始に向け手続中
2024	一般社団法人わかいふぁーむ（旧若井農園）	牛糞の清掃と牛糞堆肥の活用を通じたモデル農家創造プロジェクト	インドネシア	2024/12/25-2025/12/24
2024	Orphan Affairs Unit (O.A.U.) Japan	マラウイ農村地域で住民運営による Sky Kids Academy 幼稚園の教員能力向上及び組織強化	マラウイ/日本	2024/12/20～2025/11/30
2024	特定非営利活動法人しまなみアートファーム	ジンバブエにおける女性音楽教師育成を通じた女性の地位・収入向上を目指すプロジェクト	ジンバブエ	2024/11/1 ～2025/10/31
2024	AfricAsiA(アフリカジア)	マラウイ:HIV 陽性者女性で製造販売する石鹸品質向上の研修と収益拡大プロジェクト	マラウイ	2024/12/16～2025/12/15
2024	特定非営利活動法人 SEWA	来日直後の日本語がおぼつかない在日ネパール人児童に対する効果的な学習支援体制構築プロジェクト（フェーズ2）	日本	2024/12/2～2025/12/1
2024	SOWER	インドネシアの都市カンポンにおける魅力再発見と防災意識向上プロジェクト	インドネシア	2024/12/27～2025/12/26
2024	佐賀県協力隊を育てる会	トンガの学校における防災教育と避難計画の策定を通じた持続可能な防災力向上事業	トンガ	事業開始に向け手続中
2024	浦添市国際交流協会	日本語教室が繋ぐ地域と外国人	日本	2024/11/13～2025/10/31
2024	おきなわ日本語教室プロジェクト	島嶼県沖縄における地域日本語教室をハブとした多文化共生社会づくり～今ある情報と人を繋げるネットワークの構築から～	日本	2024/12/5～2025/11/30

JICA基金活用事業実施団体の対象国・日本国内の活動地

ニュースレター2025に掲載している海外で事業を実施した団体の活動国です。



ニュースレター2025に掲載している日本国内で事業を実施した団体の活動地です。



JICA寄附サイトに掲載しているPDF版では、ウエブサイトやSNSアカウントを公開している実施団体は団体名にリンクを貼り、QRコードを掲載しています。

■案件名
スリランカの低所得層女性によるオーガニック家庭菜園を通じたエンパワメントと生計向上支援プロジェクト
■実施団体　一般社団法人Think Locally Act Globally
（所在地）富山県（本部）、金沢市（金沢事務所）
■事業期間　2024年1月～2024年10月
■対象国・地域　スリランカ・マータレー市
■活動報告

スリランカの地方にあるマータレーで、収入を得る機会の少ない女性たちのオーガニック家庭菜園を支援し、その収穫物を販売することで女性たちのエンパワメントと生計向上を目指しています。家庭支援では有機農業の専門家が毎月コミュニティを訪問し、水やり、施肥、害虫・病気対策、土壌保全などアドバイスをしました。その結果、女性たちの実践的な技術が向上し、家庭菜園で直面する課題に自ら対応できるようになりました。また、これまで収穫した有機野菜を販売してきましたが、今回、有機のジャムやソースなどの加工品づくりにも挑戦しました。さらに設立した協同組合の定款を作成し、正式な協同組合として政府登録することができました。女性たちが作った有機野菜や加工品はミヒカタ協同組合の商品としてイベントや週末売店などで販売し、女性たちの収入向上につなげています。

■寄附をいただいた皆様へのメッセージ

マータレーには主にシンハラ・タミル・ムスリムの三民族が暮らしています。スリランカは26年にわたる内戦や2019年のISテロなど民族に関連した負の歴史がありますが、この事業では、三民族の女性たちが同じ協同組合のメンバーとして一緒に研修を行うことで、互いの理解を深め、仲間として活動できるようになりました。またマータレー地域の女性たちの多くは家庭での家事・育児が主な役割になっていますが、この事業の活動を通じて女性たちの経済的・社会的エンパワメントにつなげることができました。私たちのスリランカ事業をご支援くださった皆様に心より感謝申し上げます。マータレーの女性たちも日本の人たちが応援してくれることを励みにして頑張っています。今後も彼女たちが一歩一歩進む姿を温かく見守っていただければ大変嬉しく思います。

団体の情報はこちら

上：ジャムやソースの加工品づくりの研修
下：ニューイヤーイベントでの販売

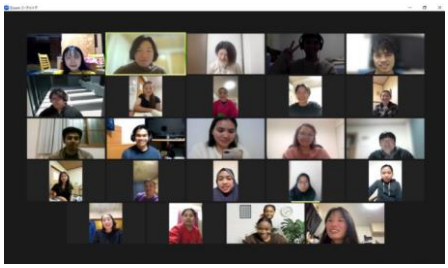
■案件名
散在する在留外国人と地域をつなぐ日本語支援事業
■実施団体　一般社団法人 にほんごさぽーと北海道
（所在地）北海道河東郡音更町
■事業期間　2023年10月～2024年8月
■対象国・地域　北海道・十勝
■活動報告

一般社団法人にほんごさぽーと北海道の活動拠点である北海道・十勝地域（１９市町村）でも在住外国人が増加し、その多くは広く散在しています。交通手段も限られ、日本語学習や地域の人的交流の機会が少ない現状を改善するため、JICA基金を活用し、全１２回のオンライン日本語教室と全３回の地域・異文化交流会を開催しました。オンライン日本語教室は延べ５０名が受講し、８名が８０％以上の出席率となりました。また地域・交流会は延べ７８名が参加しました。オンライン日本語教室では受講者同士の絆が生まれ、地域交流会では在住外国人、幅広い年代の地域日本人、企業や団体との繋がりを持つことができました。

■寄附をいただいた皆様へのメッセージ

世界の人びとのためのJICA基金へ寄付をしてくださった皆さま、私たちの活動を支援していただきありがとうございます。私たちは国内の地域課題でもある、在住外国人への「オンライン日本語教室」と「日本人とつなぐ地域・異文化交流会」を行いました。オンライン日本語教室の受講者から日本語能力試験合格の報告があり非常に嬉しく思います。地域日本人に対する在住外国人に対する興味関心の掘り起こし、在住外国人へ日本語学習の機会と地域交流の場を提供できたことは、このJICA基金によるサポートがなければ実現することができませんでした。皆さまのご支援に感謝するとともに、今後も応援いただけますと幸いです。

団体の情報はこちら



上：オンライン日本語教室
下：オンライン日本語教室修了式＆異文化交流会

■案件名
こおりやまプレスクールモデル事業
■実施団体　こおりやま日本語教室
（所在地）福島県郡山市
■事業期間　2023年10月～2024年9月
■対象国・地域　福島県郡山市
■活動報告

外国人散在地域の福島県ですが、最近、両親とも外国籍の家族が増えてきました。日本の学校文化を知らない家族にとって小学校に入学するための準備はとても大変です。小学校に安心して通えるようにするためのプレスクールの必要性が高まってきました。そこで、経験豊かな愛知県の団体から講師を迎え研修会を開催しました。愛知県と群馬県のプレスクールを見学させていただき、それをもとに郡山でもプレスクール（全4回）を開催しました。先生や先輩保護者にアンケートを取って現場の困った体験を参考にして、プレスクール保護者用資料を作成しました。資料は8言語に翻訳しHPからダウンロードできるようにしました。散在地域で行政からの支援が受けにくい地域の皆さんにもご活用いただけるように願っております。

■寄附をいただいた皆様へのメッセージ

世界の人びとのためのJICA基金活用事業によって、愛知県と群馬県で実際に開催されているプレスクールを視察することができました。外国人散在地域の福島県では、行政の予算措置が難しく身近にプレスクールを開催している事例はありませんでした。研修会を開催し先進地を視察することによって、短期間でプレスクールの運営方法を学ぶことができました。また、この機会を活かして資料を多言語に翻訳しHPに掲載することもできました。外国にルーツを持つ住民の人数が少なく、さらに背景が多様化している散在地域の皆さんにご活用いただけますよう、広報に務めたいと思います。このような機会をいただき、ご指導ご支援に感謝申し上げます。

団体の情報はこちら

上：先進地視察
下：第2回プレスクール

■案件名
インドネシア：教育機関同士の連携支援を通じた西ヌサトゥンガラ州・ロンボク島における健康教育の面的拡大
■実施団体　特定非営利活動法人POMk Project
（所在地）福島県福島市
■事業期間　2023年11月～2024年10月
■対象国・地域　インドネシア・西ヌサトゥンガラ州・中央ロンボク県プユン市およびプジュット市
■活動報告

リゾート地として有名なバリ島の隣に、ロンボク島はあります。ここはインドネシアの中でも所得が低く、2018年にはマグニチュード７以上の地震を3回経験するなど、住民の健康支援が必要とされる地域です。私たちは福島県発のNPO法人として、楽しく体のことを学んでもらう健康教育のノウハウを当地に伝える活動をしています。今年はこれまで一緒にやってきた小中学校の先生たちの指導のもと、生徒たちが学習したことをプレゼンする「健康教育コンテスト」を行いました。地域の皆さんと一緒に健康について考える機会も設け、先生同士だけでなく地域との学びあいから生まれたアイデアが地域に根ざした活動となるよう、これからも活動していきたいと思います。

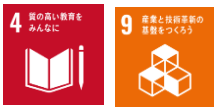
■寄附をいただいた皆様へのメッセージ

今年は健康教育のテキストブックも作ることができました。先生たちからは、『これまでの成果が形になって嬉しい、これを読みながらたくさんの人に学んでもらいたい、この活動に参加できて本当に良かった』という感謝の声がJICA基金あてに届いています。私たちは3回目の基金事業となるため、今回でJICA基金は卒業となりますが、1年目（2019年）の活動では授業を受ける側だった中高生が、コロナ禍を経て今や現地の大学生として教える側の活動に参加するまでに成長しました。これも寄附者のみなさまの暖かいご支援のおかげです。本当にありがとうございました。これからも新しい世代に学びの文化をバトンタッチしていけるよう、活動を続けていきたいと思います。

団体の情報はこちら

上：栄養バランスボードゲーム
下：ハイブリッド形式で開催された健康教育コンテスト

■**案件名**　ブータン王国のSchool Agriculture Program 課題解決強化事
■**実施団体**　学びファシリテーション
（所在地）福島県喜多方市
■**事業期間**　2023年12月～2024年12月
■**対象国・地域**　ブータン・ワンデュ・ポダン県
■**活動報告**



私たちは、ブータン王国の若者（中学～高校）に対して商品を売るための考え方や実践を学ぶ機会を学校に提供しています。ブータン国では「農業」はとても大切な基幹産業であるだけでなく、幸福を追求する哲学にも通じた活動です。しかし、近年国内の市場化が急速に進み、農業と貨幣経済との関係が密接になってきました。その一方で、若者の働き口が大きな問題となっています。この環境において、農業分野にマーケティングの考え方を入れ込み、多くの若者が早い時期から市場経済の考え方やマインドセットを身につけることが重要だと考えています。今までの「農業」が持つ深遠さを汚すことなく、しかし農業の持続可能性および若者の働く力を高める活動を目指しています。

上：グループごとの学習
下：フィールドトリップ

■**寄附をいただいた皆様へのメッセージ**

2024年8月から9月にかけて、ブータン王国のBajothan Higher Secondary Schoolにて、マーケティングに関するプログラムを実施することができました。受講した生徒は30名（中３から高３生）です。探究学習を採用し、自分たちで考え、まちに出て対象者（店のオーナーや調達の責任者など）にヒアリングを行い、最後には対象者へ向けてプレゼンを行いました。また、多くの教育関係者と話をすることができました。私たちの考えを理解してもらい、彼らが私たちのプログラムを有用であると考えてくれたことが、本プログラムをより一層推進する力になりました。本プログラムを改善し、より多くの学生たちに本プログラムを受けてもらえるように発展していきます。これからもよろしくお願いいたします。

■**案件名**　ガーナ持続可能な自給自足型の村を作る「グリーンナプロジェクト(Green×Inna Project)」第一期
■**実施団体**　Inna Project
（所在地）東京都杉並区
■**事業期間**　2024年1月～6月
■**対象国・地域**　ガーナ・アドミ村
■**活動報告**

ガーナ共和国のアドミ村は気候変動とゴミ問題で困窮している漁村で、持続可能なコミュニティを目指して本事業を開始しました。野菜を栽培して収穫物を販売すること、またその収益で漁業用ボートのモーターを購入し、広範囲での漁業を可能にし、さらなる収益の獲得を目指しました。村人の月平均収入を1万円にすることを目標に事業を開始しました。現時点で収穫はまだありませんが、今まで働く意欲があっても仕事がなかった村人たちは毎日仕事ができることに大きな喜びを感じており、働く意欲が大幅に向上しました。さらに、将来的にインナプロジェクトの監督がなくても村人が主体的に事業を進めることができるよう村人への指導方法を模索し、団体としての組織改善にも努めました。

上：第一回目の打ち合わせの様子（家庭状況の調査のため女性も参加）
下：モーター付きボートでの漁獲量の確認

■**寄附をいただいた皆様へのメッセージ**

私たちInna Projectは、西アフリカのガーナ共和国にて、現地の人々と寄り添って活動を行っています。皆様のご支援のおかげで、ガーナ共和国のアドミ村で新たな事業を開始することができました。村人たちはこれまで働きたくても仕事がなく、貧困の原因も解決策もわからない状態でしたが、本事業を通じて具体的に問題を把握し、明確な目標を立てられたことで、働く意欲が大いに向上しました。皆様のご支援が、村人たちの未来を明るくし、持続可能なコミュニティの形成に大きく貢献しています。今後も、村人たちが自立し、豊かな生活を送れるよう努力してまいります。皆様のご理解とご支援に、Inna Project一同、心から感謝申し上げます。

■案件名
バングラデシュのナライルにおける、高血圧コーディネーター育成の為のモデル構築事業
■実施団体　特定非営利活動法人Health Equity Research Institute
（所在地）千葉県我孫子市
■事業期間　2023年10月～2024年10月
■対象国・地域　バングラデシュ・ナライル県
■活動報告

高血圧が問題となっている、バングラデシュのナライル県で、高血圧に特化した専門家（高血圧コーディネーター）養成の為の学習コースのマテリアルを、英語と現地語（ベンガル語）で作成致しました。コースはただ講義をするだけでなく、参加型のワークショップやロールプレイの形式をもりこみ、さらに高血圧の概念を理解してもらう為の、ストーリーテリング形式も盛り込みました。それらの教材を用い、実際に高血圧コーディネーター養成の為のワークショップを31名に対して行ないました。今回の成果物は、高血圧コーディネーター養成講座として、今後もナライル県のコミュニティセンターにおける高血圧コーディネーターの育成に継続的に利用される予定となっております。

■寄附をいただいた皆様へのメッセージ

皆様のご寄附により、高血圧が問題となっているバングラデシュのナライル県で、この度の高血圧コーディネーター養成講座を通じ、30名以上の高血圧の専門家を、養成・育成することができました。引き続きデータに基づいた、地域に根差した効率の良い健康改善対策を行えるように尽力をして参りますので、今後とも応援をよろしくお願いいたします。

上：高血圧コーディネーター養成講座
下：ナライル県のコミュニティーセンターでのミーティング

■案件名
日本語学習者と地域をつなぐ、多文化共生社会づくりプロジェクト
■実施団体　一般社団法人 光JSみらい
（所在地）東京都大田区
■事業期間　2024年1月～2024年12月
■対象国・地域　東京都江戸川区
■活動報告

①外国人住民の社会参画支援　と　②意識啓発を目的としたセミナー開催』の2テーマを通して、日本語学習者と地域住民をつなぐプロジェクトを実施しました。①では、江戸川区小岩地区にて『BRAZIL QUEST in 小岩』を開催しました。「ブラジル体感イベント」として、参加型ライブ・ショー・セミナー、スタンプラリー等を実施。ブラジルをはじめとした国際交流に興味がある人、地域住民など約1,500名にご参加いただき、ブラジルを介した国際交流の機会をつくりました。②では『移住する子どもたちの言語とこころ』というテーマで連続開催しました。延べ約320名にご参加いただき、外国ルーツの子どもについて言語面・心理面から知識・理解を深める機会をつくりました。

■寄附をいただいた皆様へのメッセージ

JICA活用基金事業のおかげで、様々な立場の人たちと手を取り合って共に多文化共生社会促進にむけたアクションを起こすことが出来ました。採択前には考えもしていなかったようなことを実現することが出来ました。このような機会をいただき、心から感謝いたします。今回の学びを糧に今後もより一層活動に邁進して参ります。

団体の情報は
こちら

上：参加者が一緒になってサンバを踊る
下：BRAZIL QUEST in 小岩　スタッフ・出演者

■案件名
中古電動車いす提供による重度障害者の社会参加支援事業
■実施団体　特定非営利活動法人さくら・車いすプロジェクト
（所在地）東京都葛飾区
■事業期間　2024年1月～2025年1月
■対象国・地域　パキスタン・ラホール市
■活動報告

本事業では、パキスタンの重度障害者のニーズに応えるため、日本国内での電動車いす集荷・輸送体制の強化するため新たにホームページを作成しました（さくら車いすプロジェクト）。これにより、運送業者や提供者からの支援を拡大し、広範な集荷体制の基盤を整備しました。また、20年にわたるパキスタン・ラホール地域での活動を総括するための調査・分析を行いました。この経験を基に、車いす提供・支援方法、支援プロセスをまとめたガイドラインを作成し、今後計画している他国支援のための体制を整えました。これにより、今後、他地域でも車椅子の提供を通じた重度障害者の支援、社会のバリアフリー化と障害者の社会参加をさらに推進していきます。

■寄附をいただいた皆様へのメッセージ

この度は、JICA基金事業への温かいご支援を誠にありがとうございます。皆さまからの寄付金により、電動車いすの集荷体制を強化し、国内外の障害者の移動支援・社会参加を実現することができました。パキスタン・ラホールでは、車いすの提供や修理技術の移転を通じて、現地の障害者が教育や雇用の場へアクセスできる環境が整いつつあります。皆さまのご支援は、単なる物資の提供にとどまらず、多くの人々の生活に希望と自立の機会をもたらしています。これからも活動の透明性を大切にし、寄付者の皆さまの信頼に応える事業を展開してまいります。引き続きのご支援を心よりお願い申し上げます。

団体の情報はこちら

上：広い大学構内の移動が自由にできます
下：大江戸線を参考に作られたバリアフリーの電車

■案件名
みらいインベスト～外国にルーツを持つ生徒のための進路サポート～
■実施団体　SHIZULATINOS（シズラティーノス）
（所在地）静岡県浜松市
■事業期間　2023年11月～2024年10月
■対象国・地域　静岡県西部地域
■活動報告

外国人生徒及びその保護者を対象とした進学・キャリアセミナー2回の実施。静岡県浜松市のアクトシティのコングレスセンターで第1回目実施、可美公園総合センターホールで第2回実施。様々な国籍の方々が参加できるように3言語分の同時通訳と多言語スタッフなどを当日配置。第1回目同様様々な国籍の方々が参加できるように3言語分の同時通訳、さらに第1回目よりも多くの多言語スタッフなどを当日配置。その後8回分の個別フォローアップを実施。後半の実施に関しましては対面だけではなく、オンラインでの開催を実施。静岡県遠方や県外の方からの相談を実現。

■寄附をいただいた皆様へのメッセージ

まず何より、このたびは皆様の寄付や支援のおかげで未来インベストという事業を実施することができたことを心より感謝申し上げます。
事業を通じて多くの学生たちが進学の夢を叶えるために支援をすることができました。また、活動を通じて多くの方々や行政機関にもその必要性を認識していただく貴重なきっかけとなりました。これからもこの取り組みを継続し、さらに多くの学生たちの未来を支えるために努力してまいります。引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

団体の情報はこちら

上：セミナー後の学校別相談ブース
下：親子体験の発表 専門学生

■**案件名**
フィリピン・セブ島のモバイルリサイクルステーションへの挑戦
■**実施団体**　NPO法人Foot Roots
（所在地）滋賀県彦根市
■**事業期間**　2023年11月～2024年10月
■**対象国・地域**　フィリピン・セブ州セブ島、バンタヤン島、カオハガン島
■**活動報告**

団体の情報はこちら

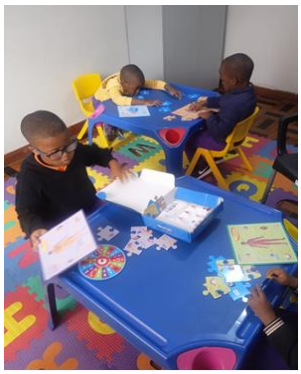
上：オープンワークショップの様子
下：Caohagan島での環境教育とワークショップの様子

フィリピン・セブの貧困地域で小規模なプラスチックのリサイクル機器を使ったプラスチックのリサイクル体験を通して、地域住民のリサイクルに対する意識の向上と定着を図る活動を実施しました。具体的には、持ち運びできるリサイクル機器を現地で製作し、子ども達や学生をはじめとする地域住民を対象にリサイクル体験ワークショップ等のイベントを開催しました。イベントでは、リサイクル機器を使いペットボトルキャップからコースターなどのリサイクルプロダクトを作る制作体験を通じた環境教育を実施し、延500名以上にご参加いただきました。今後も、地元の企業や教育機関などと連携し、ものづくりを通じて持続可能な資源リサイクルの構築を目指していきます。

■**寄附をいただいた皆様へのメッセージ**

JICA基金を通じ多大なるご支援を賜り心より感謝申し上げます。弊団体が活動するフィリピンではゴミが深刻な問題となっています。中でもプラスチックゴミについては、海に排出する一人当たりプラスチック廃棄物の量が最も多い国のひとつです。都市部の貧困地域では当たり前のようにゴミが投棄され、生活圏に加え水辺など周辺の環境を汚染しています。自然が重要な観光資源でありながら自治体による分別回収システムが十分に整っていないフィリピンにおいて、ゴミ問題を自分事として捉えてもらうため、プロダクトを作る体験を通して楽しみながらリサイクルを実感してもらえるよう活動を展開しております。今後ともご支援いただけますようお願い申し上げます。

■**案件名**
モザンビーク国マプトにおける合理的配慮のある幼稚園の設立・運営
■**実施団体**　一般社団法人モザンビークの新しい教育を支援する会
（所在地）兵庫県神戸市
■**事業期間**　2024年1月～2025年1月
■**対象国・地域**　モザンビーク・マプト市並びに近郊
■**活動報告**



上：子どもたちの学習の様子
下：開園式の様子

モザンビークはアフリカの中でも貧しい国の一つです。私たちは『一人を大切にする教育』を実践することを標榜し、首都近郊で障害があっても学ぶことができる幼稚園を設立しました。2名の教員、2名の施設管理者と一緒に働いています。初年度にあたる2024年2～12月は、4名の子どもたちと一緒に楽しく勉強することができました。そのうちの3名には発達障害の診断が下りています。彼らは、近所の幼稚園から受け入れを拒否されたり、かつていた園では全体活動に参加させてもらえなかった子どもたちでしたが、私たちの幼稚園では、その子の個性を発揮し、自分のペースで遊び、勉強することができるようになりました。その変化に保護者、教員共に毎日一緒に驚き、感動させてもらいました。2025年2月からは、2024年度案件としてもJICA基金活用事業に採択されたため、2年目をスタートしました。

■**寄附をいただいた皆様へのメッセージ**

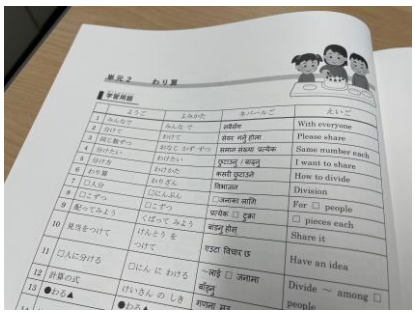
寄附者のみなさまへ感謝を申し上げます。おかげさまで幼稚園を開園することができました。この幼稚園を拠点に、「一人を大切にする教育」に関する研究ならびに普及と実践をモザンビークの地で推進してまいります。さらに「一人を大切にする社会」の実現を目指し、小学校から大学までの設立、並びに社会全体のインクルーシブ化を推進するために、障害があっても働ける仕事作りに取り組むべく、まずは2025年中に障害があっても働ける仕事作りに着手します。小学校は2026年1月の開校を目標にしています。

■案件名
来日直後の日本語がおぼつかない在日ネパール人児童に対する効果的な学習支援体制構築プロジェクト
■実施団体　特定非営利活動法人SEWA
（所在地）長崎県佐世保市
■事業期間　2023年10月～2024年9月
■対象国・地域　日本全国
■活動報告

団体の情報はこちら

特定非営利活動法人SEWAでは、日本に居住するネパール人児童に対する支援を行っています。ネパールの子ども達は、親に連れられて日本に来ます。しかし日本語を勉強する機会がないため、日本語がよく分からない中、日本の学校に通う児童も少なくありません。このような課題に対し幣団体では、小学生向け算数の「副教材」を作成しています。これは教科書に記載されている単語や文章を、「ネパール語」や「英語」に翻訳して一覧にしたものです。学校の教室において日本語で書かれた教科書が机にあり、先生が日本語で説明をする中、わからない言葉をこの副教材を使って自分で調べることを意図しています。尚、今般作成した小学校3年生から5年生までの副教材は、幣団体の以下のホームページからダウンロードできるようにしています。

副教材のダウンロード
https://npo-sewa.com/%e3%83%80%e3%82%a6%e3%83%b3%e3%83%ad%e3%83%bc%e3%83%89/



■寄附をいただいた皆様へのメッセージ

多文化共生社会を構築する上で、外国ルーツの子ども達への教育は重要な課題です。なぜならば、日本の学校で教育を受けた子供たちが、やがて大人となりこの社会を支える存在となるからです。一方、外国ルーツの子ども達への教育には、文化的な摩擦など様々な障壁が存在します。その中でも言語バリアは、喫緊の対応が求められる課題です。このような問題意識から幣団体は小学生向けの「副教材」の作成を行いました。現在までに小3から小6向けの副教材を作成しましたので、今後は小1と小2向けの副教材を作成する予定です。また、上述の通り外国ルーツの子ども達への教育では、文化的な摩擦への対応を大切な課題です。この為、幣団体では今後、多文化共生教育の開発などにも取り組んでいきます。

上・下：副教材

■案件名
福岡国際子ども食堂＆居場所
■実施団体　一般社団法人福岡国際市民協会
（旧）ベトナムフェスティバル福岡実行委員会
（所在地）福岡県福岡市
■事業期間　2023年11月～2024年10月
■対象国・地域　福岡県福岡市
■活動報告

団体の情報はこちら

外国にルーツを持ち日本での生活に孤独や不安を感じている子どもなどへの温かい食事の提供に加えて、学習支援、多様な文化・言語に触れる場を提供し、親子がともに学びあえる居場所づくりを行うため、福岡国際子ども食堂＆居場所を開催した。図は毎月のプログラムの例。一年間で96回開催し、約2000人分の親子に居場所や学習支援、継承語学習・多文化体験の機会、食事を提供できた。福岡国際子ども食堂＆居場所は地域において楽しい交流場・安心できる居場所になった。また、外国ルーツの子どもにとって学ぶ機会があまりない継承語教育や未就学児向け日本語指導、学習支援を受けられ、じしんがつくようになった。更に、定期的に外国ルーツの親子向け交流会や勉強会を実施して、地域の方と接触する機会を提供し、日本での子どもの教育や防災について必要な知識を伝うことができた。

上：学習支援の様子　下：防災の勉強会

■寄附をいただいた皆様へのメッセージ

日本において多文化共生社会を実現するために必要な取り組みにご支援を頂き誠にありがとうございました。お陰様で、活動が持続可能になり、広がっています。受益者は福岡在住のベトナムとネパールにルーツを持つ親子にしていましたが、地域の親子も多く参加され、交流から相互理解ができ、お互いに学び合っています。地域で異文化理解ができる大人がまだ少ないのですが、地域においてこのような小さな活動でも継続することで少しずつ変化が期待でき、子どもから大人に伝わっていくと信じています。今後とも、福岡において多文化共生社会を実現するために新しい取り組みを実施していくので、団体のウェブサイトをご確認頂き、引き続きご応援・ご支援をお願い申し上げます。

■**案件名**
学校における児童の眼の健康を守る事業
■**実施団体**　特定非営利活動法人ヒマラヤの星たち
（所在地）神奈川県足柄下郡
■**事業期間**　2025年1月～2025年2月
■**対象国・地域**　ネパール・ゴルカ郡およびダディン郡
■**活動報告**

ゴルカ郡では一年前に眼鏡を提供した2校の児童9人の再検査をして5人の眼鏡を更新しました。またダディン郡の2校で新規に316人の検査を実施して、19人を首都カトマンズの眼科病院で検診し、16人に眼鏡を提供しました。眼鏡を提供された児童は、教室の黒板の字がよく見えるようになったと、喜びを表しています。教員には眼科医師による眼の健康に関する教員の役割についての講義を実施して、参加者の関心を喚起しました。ネパールでは学校保健に関する政策が緒に就いたばかりで、教員レベルまでその趣意が浸透していません。わたしたちの活動では、学校で毎年一度は眼の検査をして、眼の障害を早期に発見できるように、教員の啓蒙にも重きを置いています。

■**寄附をいただいた皆様へのメッセージ**

ネパールには、3万の子どもの失明者がおり、24万の子どもが重度視力障害に悩まされています。これらの8-9割は早期発見・治療によって防げるといわれています。ネパールの医療施設は都市に偏在しています。わたしたちは、無医村の学校で児童の眼の検査・検診を実施して、首都カトマンズの眼科病院で精密検診の上、眼鏡等の適切な治療を提供します。外国のNGOが養成した若い先生たちは、新しいスタイルの教育をよく思わないオールド・ジェネレーションとの摩擦と葛藤しながら、少しずつではありますが村の学校を変えています。わたしたちは、そんな先生たちに学校における眼の保健の手法を習得してもらい、子どもたちを失明から救うために行動するよう応援しています。 ドナーの皆様の温かいご支援が、ネパールの明日をつくる子どもたちの健全な心と身体を育んでいます。ありがとうございます。

団体の情報はこちら

上・下：検診の様子

■**案件名**
多文化親子ひろば～つながろう！ひろげよう！こどもの輪～
■**実施団体**　一般社団法人磐田国際交流協会
（所在地）静岡県磐田市
■**事業期間**　2024年11月～2025年3月
■**対象国・地域**　静岡県磐田市福田地区および周辺地域
■**活動報告**

静岡県西部に位置する磐田市には日系ブラジル人をはじめ外国にルーツを持つ人たちが多く居住しています。定住化が進み、近年外国にルーツをもつ子どもが増えています。私たちは市内の小学校で長く外国人児童の学習支援を実施してきましたが、低学年児童が学校生活への適応や学習の積み上げに困難を抱えるケースが見受けられます。それには幼児期の生活体験や集団生活の経験の不足が関係しているのではないかと考え、今回就学前の親子のための交流型体験プログラム「多文化親子ひろば」を実施しました。【スポーツ】【アート（工作）】【食育】など全5回の活動を企画し、ブラジル、ベトナム、中国そして日本人の親子が集まり、交流を楽しみながら様々な体験をすることができました。

■**寄附をいただいた皆様へのメッセージ**

皆様のご支援のおかげで、以前より構想を描いてきた「幼児支援事業」のスタートを切ることができました。就学前の親子向けの本格的なアクティビティーを企画、実施できたことで、受講者はもちろんのこと、彼らと同じ地域で暮らす講師、支援者、ボランティア、そして主催者である私たちも大変貴重な体験をさせていただきました。そして今回出会った方々との対話を通して様々な課題も見えてきました。今後も地域の方々や行政担当課とも連携し、外国につながる子ども（親子）支援を継続していく所存です。この度は貴重な機会を頂き、誠にありがとうございました。

団体の情報はこちら

上：【スポーツをしよう】
下：【栄養のお話を聞こう／お弁当をつくろう】

世界の人びとのためのJICA基金 ニュースレター2025前期
発行：独立行政法人国際協力機構　国内事業部市民参加推進課
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-4-1 竹橋合同ビル
TEL：0800-100-5931（寄附専用ダイヤル）
https://www.jica.go.jp/activities/schemes/partner/private/kifu/01.html